



F-wave

藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

特集：能登の八月



コミュニティ再建事業の準備風景

2024年、日本のお正月は地震から始まりました。最大震度7の地震が能登半島を中心とした地域を襲い、大きな被害をもたらしました。その後、被害状況を報じるニュースや、現地の救援・復旧に関するニュースも数多く流されてきました。東日本大震災以降、その他の近年の災害においても、災害の種類や規模、被災地の事情により、救援・復旧・復興にかかる道のりは大きく異なります。今回は、当施設センター長が現地支援のサポートに入った八月末に、地震の発生から約9か月が経過した状況で、現在必要とされる支援、被災地外からできることなどについて、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（以

下、JVOAD）の明城さんにお話を伺いました。

JVOADの設立は東日本大震災をきっかけとしています。東日本大震災の際は、どの地域にどのような支援が必要かなど、情報が錯綜した中で様々な団体が支援活動をしており、大規模災害時に支援する側が混乱しないような情報共有や、円滑に支援に移ることができるサポート役の必要性が認知されました。JVOADの法人認証は2016年11月ですが、同年4月に起きた熊本地震は設立の準備期間にあたり、実質的には熊本地震を初めとして、大規模災害の被災地支援にあたっています。

（つづく）



能登の八月

今回の能登半島地震についても、発災直後から被災地に入り、支援を続けてきました。明城さんは、「熊本地震を例に時間比較をすると、避難所は4月発災で11月に解消でした。今回は1月に起きてまだ避難所があり、仮設の入居も建設も、解体作業も続いている状態です。特に初期に関しては、道路が通じていない影響が大きかったです。もちろん被害そのものの大きさもありましたが、熊本では大分側からとか宮崎側から支援できました。能登は港もダメだったので、交通が止まってしまいました」と語りました。



被害を受けた橋

被災地では市町ごとなどの情報共有会議の開催のほか、団体と支援先のマッチング、団体の声をもとに行政や企業等と調整するなど、主に情報や関係をつなげる役割を担っています。明城さん曰く、「能登に入ったときは、県庁内でも災害支援団体の担当課が確定していないような状況でした。うちの仕事は被災者支援のコーディネーションですが、活動支援と活動調整の大きく二つに分かれていて、活動支援は高速道路無料化の窓口であったり、団体への情報提供をしています。活動調整としては、現在コミュニティ再生などの課題がある中、NPOと行政とで解決できるような場づくり、つながりづくりをえています」とのことです。JVOADは現在、石川県庁の会議室を間借りしており、発災から半年以上が経過した現在でも、日夜NPOや行政からの相談であったり、行政や関連団体との調整会議を行っています。

8月末の段階では、避難所から仮設住宅への移行期となりました。公費解体も拡大しつつあり、高速道路の無料化申請



他地域から応援に来た団体

を行う団体の中でも、解体前の片づけや引っ越し支援をしている団体が目立ちました。「今、県などとコミュニティ再建に関する打ち合わせを進めています。並行して相談支援なども進める中で、行政側が想定している支援を、ニーズに合わせて柔軟に団体が使えるような橋渡しをしています。スーパーがない地区であるとか、厳しい能登の冬であるとか、個別的、地域的、時期的なニーズをうまく捉えて団体が滞りなく支援できるように立ち回っています」と、明城さんは語りました。

最後に、藤沢などの遠隔地から現在できる支援を伺うと、「まずは県外避難で神奈川などに行った人の支援。川崎で今度交流会がありますが、そういった動きがあるといいです。募金もまだまだ有効ですが、見守り支援や仮設住宅は2年以上続くので、石川県にあるコミュニティ財団など、長期的に復興に使える、気長に支援する受け皿に集まってほしい。現地応援の購入や、旅行での支援も被災地でのお仕事が増えるのでぜひやってほしい。現地まで来れば10月ごろまでは仮設住宅への移動ニーズも多く、まだまだ農地などでもボランティアさんの人手が必要な状況です」とのことでした。

8月21日に行われた石川県災害対策本部会議では、「今後の開催を不定期にする」という決定がありました。これは復旧のめどが立ったことではなく、右へ左へと支援していく段階から、状況を見極めつつ、次に必要な支援を考える段階に移行しつつあることを意味します。震災関連死などの情報も散発的に報じられる中、今後も遠くからできることを考えていければと思います。
(取材と記事作成：関野)

団体紹介

(N)全国災害ボランティア 支援団体ネットワーク

【設立】 2016年

【代表理事】 栗田暢之

【URL】 <https://jvoad.jp/>



JVOADは災害時においても、すべての市民が多様性を認めあつて支えあい、尊厳のある生活が守られる社会を目指しています。

支援者の力を最大限に活かすため、多様な担い手とともに全国ネットワークを築きます。

災害時には、支援の「もれ・むら」をなくすため、被災した地域をサポートし、災害時の連携・コーディネーションを行います。

円滑かつ効果的な支援をするため、コミュニケーションの場を作ります。

災害に備え、多様な担い手とともに啓発・理解促進、政策提言などを行います。

(JVOAD HPより)

JVOAD

私たちは「話し合う」ことで問題を解決できることを知っています。すべての問題を解決できる訳ではないですが、ランチのレストラン選びから戦争の終結まで、話し合いによってさまざまな問題が解決されてきました。社会的な問題の解決に向けて活動されていることの多い市民活動団体の皆さんも、話し合うことで問題を解決した経験をお持ちの方が多いことと思います。今では話し合いのやり方が確立しつつあり、当支援施設でも過去に講座を開催させていただきました。今回のNPOTIPSでは、問題解決の話し合い方について改めて見渡したいと思いません。

話し合いのやり方あれこれ

アイデアを出し合う方法として有名なものが「ブレインストーミング」です。「批判はしない」「自由奔放」「質より量を重視」「他人のアイデアへの便乗歓迎」というルールでアイデアを出し合います。ある参加者から出されたアイデアが他の参加

者の便乗によって変化していき、参加者みんなが「コレだ！」と思うアイデアへと成長していくのが面白い手法です。他にも、客観的・感情的など6つの視点からアイデアを検討する「シックスハット法」や、大谷翔平選手も高校時代に実践していた3×3のマスのアイデアを書き込んでいく「マンダラチャート」などがあります。

意見をまとめる方法として有名なものは「KJ法（※正式な「KJ法」とは異なります）です。カードに意見を書き出しグループ分けして行う方法です。似た意見をまとめることで、共通点やパターンを見つけやすくなります。他にも、強み・弱み・機会・脅威の4つに分類してメリット・デメリットを明確化する「SWOT分析」や、乱立する案の絞り込みに使える「投票」、全体像が分かりやすくなる「マインドマップ」などがあります。

話し合いは方法だけではうまくいきません。「話し合いの目的やゴールを明確にする」ことも重要ですが、「参加者全員が

意見を言えるようにする」「感情的になりすぎない」「必要に応じて進行役や記録役、タイムキーパーを置く」など、他の参加者を尊重する環境づくりが必要です。

高校生も学んでいる！？

話し合いのやり方やルールについて、現在では高校生も習っているそうです。EテレのNHK高校講座では「ブレインストーミング」や「KJ法」、「マインドマップ」のやり方が20分で簡潔に紹介されています。私達も、会議のやり方講座を受講せずとも、そのやり方を知ることができる時代になりました。動画がありますので、ぜひご覧いただき市民活動の会議などで活用いただきたいと思います。（す）

●始めよう！情報！～問題解決のチカラ～



未来サミット2024：それは何をもたらすのか



2030年の達成に向け、地球規模で取り組んでいる「SDGs」は残り5年となり、達成度が様々な視点から公表されています。国際的な研究組織「持続可能な開発ソリューション・ネットワーク」(SDSN)は、世界各国のSDGsの達成度を評価した「Sustainable Development Report」(持続可能な開発報告書)の2024年版を2024年6月17日に発表しました。この報告書によると、日本のSDGs達成度ランキングは、2017年の11位をピークに下がり、2023年は21位で、初めて20位台に転落しましたが、2024年は7年ぶりに上昇に転じて167カ国中18位になり、過去最低順位だった前年から3ランク上がりました。しかし、17の目標のうち【達成済み】は1つ(目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」)、【課題が残る】は5つ、【重要な課題がある】は6つ、最低評価となった【深刻な課題がある】は「ジェンダー平等を実現しよう」「つくる責任、つかう責任」「気候変動に具体的な対策を」「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」の5つです。因みに、2024年版のランキング1位は4年連続トップのフィンランド(86.4/100)、2位はスウェーデン(85.7/100)、3位はデンマーク(85.0/100)、4位はドイツ(83.4)と続き、ここまでは前年と同じ顔ぶれでした。報告書には、世界全体のSDGsの進捗について、「SDGsのターゲット(17目標の下にある169の小目標)のうち、2030年までに達成できそうなものはわずか16%しかなく、残りの84%は進捗が限定的か、後退している。世界レベルでは、SDGsの進捗は2020年以降停滞しており、特に目標2(飢餓をゼロに)、11(住み続けられるまちづくりを)、14(海の豊かさを守ろう)、15(陸の豊かさを守

ろ)、16(平和と公正をすべての人に)は、達成への軌道から外れている」との記載もあるように、課題を示すと同時に、多くの国がSDGs達成に向けて力強く歩んでいることを教えてくれています。しかしながら、全体として2030年の目標達成は難しい状態です。国連では、次の目標のための「国連未来サミット2024」を2024年9月22日23日にニューヨークで開催します。これは2045年の国連100周年に向けて、世界が直面する重大な課題に対する協力の強化とSDGsの次のグローバル・アジェンダを議論することを目的としています。加えて、グローバル・レベルでの意思決定において、未来への影響を体系的に考慮しています。また、「将来世代に関する宣言」で謳われるコミットメントと実施手段を通じて、将来世代に対する予見可能な害を意識的に回避し、将来世代の利益を守ることも視野に入れ、世界的な意思決定への若者の参加を拡大・強化するために、すべての国連政府間メカニズムおよびプロセスにおける若者の参画を約束し、意義ある若者の参画のための世界標準を示すことも必要と考えています。日本では、開催地の周りで開かれているサイドイベントで交換されているホットな情報や、現地の会議やイベントに参加したメンバーからの、マスメディアの報道では聞こえてこない「声」をお届けするイベントを開催します。SDGsの次のアジェンダ議論を間近に見ることのできる数少ない機会です。参加してみませんか。(て)
【開催概要】2024年9月23日(月祝) 日本時間 20:00-21:00オンライン開催(zoom)、参加費:無料、主催:一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク



講座・イベントの

ごあんない

イベント

日時

■湘南台駅地下パネル展示参加団体募集

9月25日(水) 締切

■市民活動プラザむつあい 休館日変更

9月16日・9月23日

■ITサポート講座「らくらく Windows 講座」

9月30日(月) 13:30~16:00

■市民活動推進センター 大規模外壁工事

8月26日(月)~12月31日(火)

NEW!

支援施設からのお知らせ

■湘南台駅地下パネル展示参加団体募集

第5回 湘南台駅地下パネル展示を開催します。湘南台駅地下を利用する人たちに市民活動を知ってもらう機会として毎年開催しています。配架チラシも1,000枚を超える実績が出るようになりました。大きなサイズの紙面づくりや他の団体様との交流機会にもしたいので、たくさんのご参加をお待ちしています。

※9月26日(木)10時30分より展示説明会を実施します

締切:9月25日(水)

場所:湘南台駅地下アートスクエア

料金:無料

対象:藤沢市市民活動支援施設 登録団体

または登録を考えている団体

問合せ:市民活動プラザむつあい



■市民活動プラザむつあい 休館日変更

「市民活動プラザむつあい」は、敬老の日・秋分の日の振替休日のため2024年9月16日(月・祝)、9月23日(月・祝)を開館日といたします。それぞれ翌日の9月17日(火)、9月24日(火)が休館日となります。ご注意ください。

開館:2024年9月16日,9月23日(いずれも月曜日)

休館:2024年9月17日,9月24日(いずれも火曜日)



■ITサポート講座「らくらく Windows 講座」

Windowsの、今だからこそ知りたいあれやこれやお伝えします。使い方を学びたい方、改めてWindowsの機能を知りたい方など、WindowsのPCをお持ちの方におすすめの講座です。

日時:2024年9月30日(月)13:30~16:00

会場:市民活動推進センター会議室

内容:Windows11の解説、できること等

受講料:1,000円

対象:NPO・市民活動・地域活動に関わっている方

定員:10名(先着順・貸出PC5台まで)

講師・運営:藤沢市市民活動支援施設サポートクラブ ITサポーター



■市民活動推進センター 大規模外壁工事について

2024年8月26日(月)より、藤沢市市民活動推進センターが所在するビル、アーバンセンター藤沢につきまして、外壁の大規模工事が実施されます。利用者の皆様におかれましてはご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。工事に関連して、ご質問やご利用上の懸念などがございましたら、推進センターまでお問い合わせください。

工事場所:外壁全面、屋上

工事内容:外壁タイル等の改修工事、屋上防水改修工事

工事日程:2024年8月26日(月)~12月31日(火)※雨天順延

実施時間:8:00~18:00



発行:藤沢市市民活動支援施設

本館:市民活動推進センター

開館時間 9:00~22:00 火曜休館

※日・祝は9:00~20:00

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢 2F

TEL:0466-54-4510 FAX:0466-54-4516

Eメール:f-npoc@shonanfujisawa.com



分館:市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00~17:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL&FAX:0466-81-0222

Eメール:f-npoplaza@shonanfujisawa.com

編集:認定NPO法人 藤沢市市民活動推進機構(藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体)

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております♪サポーターも随時募集中です!